東北電友会会報

91号
令和4年
8月発行

シリーズ 活き活きと
～仲間と集う 明日も共に～

写真提供／電友会 福島支部

目次

ごあいさつ
NTT 東日本 宮城事業部 福島支店長 …… 1
支部長メッセージ 福島支部長 …… 2
NTT グループ東北だより …… 3
震災・災害コーナー …… 4
東北地方本部だより …… 7
各地区電友会だより …… 9
会員リレーコーナー …… 46
会友コーナー 文芸・随想 …… 51
編集後記 …… 61
NTT 東日本から退職者の皆さまへ …… 63

発行／電友会東北地方本部

電友会東北 検索

ごあいさつ

東日本電信電話株式会社
宮城事業部 福島支店長

畠山　良平

東北電友会の皆様には日頃からＮＴＴ東日本グループの事業に対し、格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年７月１日に福島支店へ着任し、早１年が過ぎました。３年振りの東北勤務となり、改めて東北、福島の豊かな自然や、人々の温かさを感じながら仕事をさせて頂けることに喜びを感じております。

ＮＴＴ東日本福島グループでは、地域や行政機関との連携協定を積極的に締結し、地域や社会から求められる課題に対し、通信分野のみならず非通信分野の領域にも拡大しながら課題解決に向けて取り組んでおります。昨年は福島市、土湯温泉協会、福島県警察本部と連携協定を締結いたしました。福島県警察本部とは特殊詐欺を始めとする各種犯罪の未然防止を目的に、保守要員が故障修理業務等で一般家庭を訪問した際、注意喚起のチラシの配布や、「見守りステッカー」を貼付した業務用車両による地域安全活動など、地域に寄り添った取り組みを推進しております。

また、この２年間は新型コロナウイルス感染拡大により活動が制限される環境下で事業運営を進めてまいりました。完全収束まではまだまだ油断できない状況ではありますが、このコロナ禍を奇貨として、リモートワークを中心とした新しい働き方の推進に取り組んでおります。

昨年度福島市と締結した「新たな復興創生ステージの形成に向けたまちづくりに関する協定書」に基づく取り組みとして、今年４月にＮＴＴ福島大町ビルの旧窓口スペースを利活用し、シェアオフィス「コネクト大町」をオープンしました。ポストコロナ時代における新たなビジネススタイルに沿ったリモートワーク拠点として、社内外の多くの方にご利用頂いております。活力あふれるクリエイティブなまちづくりに向け、多様な交流の場として県内外を問わず首都圏等からも人を呼び込みたいと考えております。

コロナ禍に伴い、２年分のデジタル変革が２か月で実現されたと言われるほど、デジタル化が大きく進展し、今後はスマート化や省力化が更に進んでいくと見込まれます。また県内を見ますと、震災復興と合わせながら、各所にて未来に向けた街づくりとしてスマートタウン構想の動きも出てきております。このような動きの中で、様々な場面において地域社会の課題解決パートナーとしてＮＴＴ東日本グループの役割が期待されていると感じております。今後とも地域の活性化に向けて、デジタル化、スマート化の支援を推進していきたいと思います。

最後になりますが、東北電友会会員の皆様の益々のご健勝とご発展を祈念いたします。

◎支部長メッセージ

福島支部長

山田　斉

令和4年3月16日夜に発生した、最大震度6強の福島県沖地震は、11年前の東日本大震災を思い起こす程の非常に大きな揺れを感じ慌てて飛び起きました。

我が家では、棚から落下した皿や花瓶等の陶器やガラス器が割れた程度でしたが、近所では、屋根瓦の落下や外壁の剥がれ等住宅の損傷が有りました。

福島県内で被害が大きかった相馬地方や伊達地方では、令和3年2月に発生した地震の復旧がようやく済んだばかりなのに…。被災した方が多いなか、電友会の会員に全壊や半壊の方が居なかったのは、幸いです。

東日本大震災及び福島第一原発事故から11年が経過した福島県の状況は、他の県と違い原発事故が伴ったため、立ち入り制限等が未だ続いており、復興が進んでいない状況です。

此れまで、常磐線の再開通及び常磐高速道路の全線開通、住民帰還に向けた復興拠点の整備や企業誘致等に取り組まれておりますが岩手、宮城両県に比べて目に見える形での復興が進んでおりません。

原子炉の廃炉関連では、原子炉建屋に流入した汚染水から放射性物質を除去し、タンクに貯蔵している処理水を希釈して海洋に放出する方針を政府が地元住民に説明を行っていますが、安全性より風評被害が大きいと漁業関係者から反対を受けています。処理水が増え続け貯蔵タンクを増設すると、廃炉作業で排出される廃棄物の保管場所が無くなる等、廃炉までには今後も多くの難題が発生すると思われるので、当初予定の30年～40年を超える期間になることが想定されます。

令和2年の年明けから感染が判明した新型コロナウイルスの感染拡大は、活動自粛を余儀なくされ日常生活に大きな影響を受けました。

電友会の福島県内各地区では、総会や懇親会は集合での開催を中止することとしました。しかし、会員を繋ぐサークルの活動は、令和2年の後半から、ゴルフやパークゴルフ及びトレッキング等、主に屋外で行うサークルが感染防止対策を徹底して例会を開催しており サークルの代表や幹事等の世話役の方が苦労して運営しています。

ところがコロナ禍の影響とは別に、ある地区では会員の高齢化と減少により、活動も停滞してきており、数年後には会の継続が難しいとの相談が有りました。そこで、最近新聞に掲載された福祉関連講座でのポイントを紹介します。

「世にあるさまざまな活動を支えるためには、3つのシステムが必要です。ハードウェア（道具と設備）と、ソフトウェア（道具や設備を動かす仕組み）、そしてハートウェア（Ｈｅａｒｔ＝心や気持ち、活動に関わる姿勢や想い）の3つです。その中でも一番外せないのはハートウェアです。」との内容でした。

電友会に当てはめると、全国的な組織であるハードウェアの下に、各地区の事務局が先輩から受け継いだ地域毎に特色あるソフトウェアで運営を行っていますが、会員が楽しむサークルを牽引する代表や幹事等の「自ら楽しみ、皆と楽しむ」ハートウェア溢れる活動が一番大切な事と思います。

会員の減少に伴い会費収入の減少等から運営が難しい地区には、支部から金銭的な支援も必要と思っています。旧知の会員がより楽しく繋がっていける電友会とするため、事務局としてどんな支援が必要か、一緒に考えながら進めて行きます。

◆ＮＴＴグループ東北だより

◎仙台・青葉まつりへの参加

５月14日ＮＴＴ東日本宮城グループは、３年ぶりに開催となった「第38回仙台・青葉まつり」に参加しました。コロナ禍の下での開催となったため、人数制限やＰＣＲ検査の実施など、感染対策を十分行った形での参加になりました。ＯＢ・ＯＧの方々を含め総勢50名の参加者は皆、３年ぶりのお祭りを笑顔で楽しんでいました。今年は東北各県の夏祭りも開催されます。ＮＴＴグループ参加者へのご声援をお願いします。

お囃子隊
少ないメンバーでもがんばろうネ！

NTT 囃子山鉾

NTT りんりん すずめ連
いざ出陣！

◎「ＮＴＴ東日本みやぎの森プロジェクト」

６月18日『「ＮＴＴ東日本みやぎの森」プロジェクト』として、３年ぶりにクロマツの苗木植樹後の生長活動の下草刈り作業を実施しました。当日は、宮城事業部・東日本－東北の社員、そのご家族、そしてＯＢ・ＯＧの総勢64名が参加し、夏を思わせる日差しの中、東松島市の矢本地区と浜市地区にそれぞれ分かれて作業を行いました。参加されたＯＢ・ＯＧの皆さま、大変ありがとうございました。

作業後：ジャングル解消！

作業後：木と木の間がスムーズに！

最後に参加者全員で記念撮影。大変お疲れ様でした。

◎スポーツクラブ後援会情報

日頃より、ＮＴＴグループ東北スポーツクラブ後援会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。また、「東北マークス（ベースボール・バドミントン）」後援会へ多くの方からご賛同いただき、改めて感謝申し上げます。

ベースボールクラブは、6月に開催された「全日本クラブ野球選手権宮城県大会」において、見事優勝し、宮城県代表として7月末の東北大会へ出場します。この大会で8月27日から開催される全国大会への代表権を勝ち取り、念願の優勝を目指してまいります。

バドミントンクラブは、4月に行われた「全日本実業団バドミントン選手権東北予選会」において12連覇を達成しました。その他の大会においても東北では敵なしの強さで、輝かしい成績を収めております。11月からは、国内最高峰の「Ｓ／Ｊリーグ」が開幕し、1月には「Ｓ／Ｊリーグ仙台大会」が予定されていますので、是非、会場までお越しいただき地元仙台で闘う選手への熱いご声援をお願いいたします。

―忘れない。忘れてはいけない―
震災・災害コーナー

◎豪雨災害と地震対策

上山電友会　**大野　政敏**

〈豪雨災害について〉

令和2年7月28日に山形県内を襲った豪雨により、上山市内では土砂崩れが発生し、市道や農地のほか、公共施設などに大きな被害をもたらしました。特に、市街地を流れる川や排水路からあふれた水が、中心市街地の活動拠点となっている二日町プラザに流れ込み施設内にある「総合子どもセンターめんごりあ」においても、最大25㎝浸水する事態となり、当面の間、臨時休館を余儀なくされる事態となりました。（人的被害、上山電友会会員の被害はありませんでした。）

また、積雪量も、昨年度は例年の倍くらいありました。雪質は温暖化の影響なのか、氷点下5度でも重く感じられます。スキー場は12月中旬頃からオープンしましたが、コロナ禍で県外からの団体客や、県内の学校からも利用は少なく、スキー場・温泉街では大変な状況に追い込まれております。

めんごりあ館内

上山市内
二日町プラザ周辺

上山市内
新湯

〈**地震対策について**〉

・上山断層

県道山形上山線（西回りバイパス）の山形市松原－上山市弁天間（１０４５メートル）、山形ニュータウン「蔵王みはらしの丘」への、アクセス道路として整備されたこの幹線道は、山形盆地断層帯南部を構成する、上山断層の真上を横切っています。万が一、活断層が動いたとき被害を最小限に抑えるため、様々な工夫を凝らし、断層を考慮した道路設計は、全国的にも珍しいそうです。

西回りバイパス

・細長い丘陵地

断層の直上にある上山小もそうした学校の1つです。上山小は月岡公園の北隣にあり、この公園は山形盆地断層帯南部を構成する上山断層のラインに位置する為、上山小の改築計画が進められました。活断層の危険性は市議会でも取り上げられ、「移転すべきだ」との声も出ましたが、保護者や地元の要望もあり、同じエリアに建て替えることになりました。市教委は、建物を断層から25メートル以上離す他、基本的に2階建ての低層とするなどの対策を取ることにしました。

当地区内にも活断層が走っているようです。そのため日頃から注意・準備を怠らず、自主防災会で訓練を行い、災害時お身体の不自由な方・一人暮らし・ご高齢の方の安否確認も重要になってきます。

また水害は、ときに低地に関心が向けられ

細長い丘陵地に立つ上山小

丘陵地

ますが、私の地区は三方を小高い丘陵地にあり、灌漑用池もありまして、予期せぬ豪雨に不安がつのります。
県会議員を通じ、県に地震対策・豪雨調査を要望しているところです。

◎震災を詠む

東北地方本部

〈**震災俳句**〉

河北新報の朝刊に「秀句の泉」というコーナーがあり、毎日秀逸の俳句が掲載されています。その中で『震災句集』から一句掲載された日がありました。長谷川櫂（１９５４～）氏の

『いくたびも　揺るる大地に　田植えかな』

です。

地震列島と言われる日本に住んでいれば、地震に遭遇するのは仕方ない。大地震ともなれば家屋の倒壊、田畑の地割れ、津波被害云々。太古から今に至るまで、何度も災害に苦しんできた人々が、それでも田に稲の苗を植え畑に作物を作り綿々と続けてきた生きる営みを詠んだこの句に、人々のしたたかさと逞しさを感じ、しみじみと心惹かれました。自然へ畏敬の念を抱き災禍に苦しみながらも《あれこれ考えても仕方ない、まずは一歩前へ踏み出そうよ！》と、まるで生への本能がひたすらに命を生き繋いでいるような一句です。

〈**震災和歌**〉

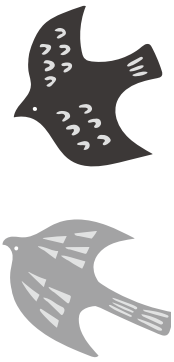
良寛和尚が生きた江戸時代後期に三条地震（現新潟県三条市近郊）が発生。将棋倒しのように倒壊した家屋２万軒以上１５００人以上の死者を出した大震災でした。越後の惨状を目の当たりにした良寛和尚が詠んだ和歌を一部紹介します。

『永らえむ　ことや思いし　かくばかり
　変わり果てぬる　世とは知らずて』

『かにかくに　とまらぬものは涙なり
　人の見る目も　忍ぶばかりに』

良寛和尚は被災者に米を配ったり犠牲者の供養などにも奔走したそうです。

最近も福島県沖や宮城県沖を震源とした地震が頻発しています。また6月19日には北陸の能登半島で震度6弱の地震が発生し余震が続いています。私達も再度『災害への備え』を確認しなければいけないと強く思っています。



東北地方本部だより

東北地方本部事務局

◎電友会本部理事会

4年2月24日、オンライン会議で実施。「令和4年度事業計画」等の意見交換を行い、これをベースに地方本部の事業計画を策定することで意識を合わせました。

◎第2回支部長・事務局長会議

4年3月3日、Ｗｅｂ会議により開催。4年度事業計画の意見交換、規約の一部改正、ホームページのリニューアル、本部理事会模様等について審議・報告が行われました。

◎地方理事会

4年4月22日、集合＆Ｗｅｂ会議で開催。この中で地方評議員会の書面会議開催の決定及び4年度地方評議員会議案書審議、地方本部長表彰等を諮り、各理事（支部長）の賛同により議決しました。

◎東北地方本部評議員会

4年5月19日開催予定でしたが書面会議となりました。各評議員（地区会長等）へは議案書を送付し、3年度事業報告並びに4年度事業計画、役員改選等について審議していただき、議決ハガキにより全て原案どおり可決承認されました。

今年度の地方本部長賞として決定した支部・地区役員を長年務め退任された2名の方（白河地区・関戸忠義様、盛岡地区・塚健一様）へ感謝状が贈られました。

◎ボランティア活動

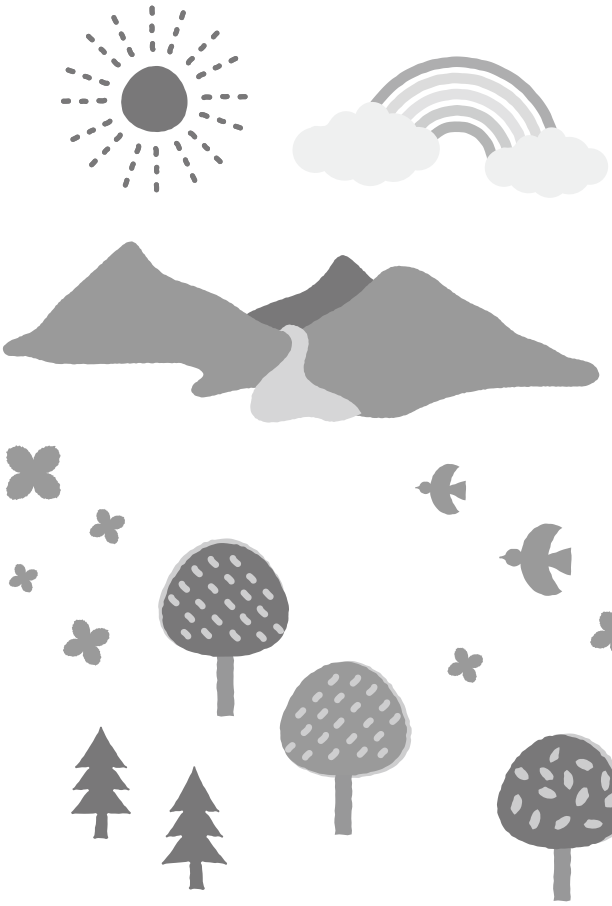
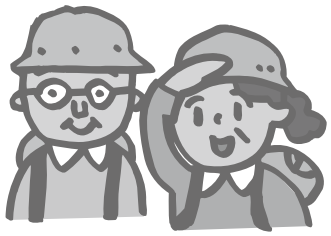
ＮＴＴ東日本宮城事業部主催の「東松島市海岸防災林再生活動」について、は6月18日に3年振りに実施することになり、同市矢本地区、浜市地区の植樹後の成長管理（下草刈り）活動に参加しました。苫米地副本部長始め五ッ橋クラブ（8名）、石垣会長始め石巻電友会（11名）の計19名の会員が現役とともに心地よい汗をかいてきました。

「気仙沼大島海岸林再生活動」については、今年度の実施は決まっていませんが、「チームＮＴＴ」として積極的に取り組んでいくこととします。会員の皆様のご参加をお願いいたします。

3年ぶりに汗を流しました

◎物故会員の叙位・叙勲

次の方々は、生前のご功績により、それぞれのご逝去の日をもって叙位・叙勲の栄誉に浴されました。

（令和3年10月～令和4年3月まで）

（叙位・叙勲）	（支部名）	（ご氏名）
瑞宝単光章	宮城	土田 秩 様
従六位瑞宝単光章	宮城	鹿内 富男 様
瑞宝単光章	宮城	鈴木善三郎 様
従七位瑞宝単光章	宮城	高橋 東 様
瑞宝単光章	山形	白田 博康 様
従六位瑞宝単光章	山形	柿崎 忠勝 様
瑞宝単光章	秋田	工藤 敏夫 様